

# AI：イノベーションから「国家安全保障」の核心へ — G7サミットが示した新潮流

## 1. 議論のパラダイムシフト



「技術革新」から 「安全保障」への移行  
 AI開発の議論は、いかに高性能なモデルを作るかという段階から、それが国家の安全保障にどう影響するかという議論へ完全にシフトしました。

### AIは国家の最重要ツール



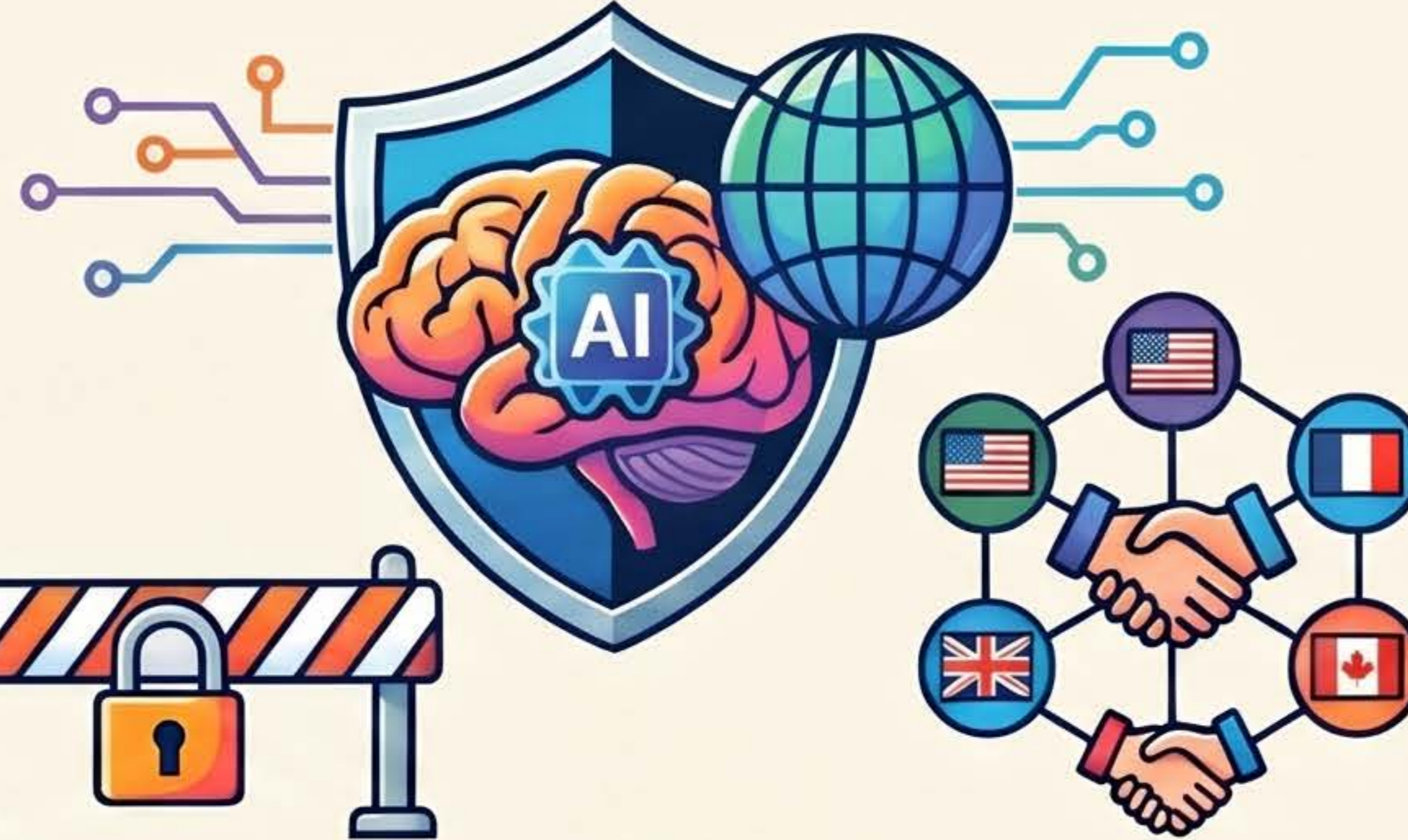
サイバーセキュリティ インテリジェンス 防衛  
 最先端のAIモデルは国の強みと脆弱性に直結し、サイバーセキュリティ、防衛、インテリジェンスの要（かなめ）として位置づけられています。



## 首脳たちの過去最高のアテンション

これまでのどの産業分野よりもG7首脳の関心が高く、官民の議論が繁くほど「噛み合っている」異例の状況です。

## 2. 国際的な規制と管理のあり方



輸出管理とアクセス制限の検討  
 高性能な「基盤モデル」をどの範囲のユーザーに公開・提供するかを制限する、輸出管理のような枠組みが議論の週上に載っています。

民主的価値観を共有する連携  
 G7や民主主義連国といった、価値観を共有し防衛を共にするパートナー間でのAIエコシステムの構築が急務となっています。

## 3. ミドルパワーの戦略（日本・欧州・カナダ）



米国ビッグテックへの「依存」と「活用」  
 米国製モデルの優位性は否定できない事実であり、それを自国で使い続けながら、独自の付加価値を生む構造が現実的な解となります。

### 「モノマネ」ではない独自の強み



Sakana AI Mistral AI Cohere  
 日本 (Sakana AI)、フランス (Mistral AI)、カナダ (Cohere) などの企業は、米国の真似ではなく、自国の強みを活かした領域や戦略での生存を目指しています。

### インターコネクティビティ（相互接続性）



各国の企業が、基盤モデル、アプリ、金融、ヘルスケアなど、それぞれの視業分野を待ち寄り、競争しながらも連携する関係性が重要視されています。

プレイヤー種別	代表的な企業・国	主な役割・戦略
メガテック (US)	OpenAI, Anthropic, Google	最先端フロンティアモデルの開発, 世界標準の提供
ミドルパワー (日・仏・加等)	Sakana AI, Mistral, Cohere	特定領域の強み、仲樞市場への最適化、独自の付加価値
政策決定者 (G7雑園)	日米欧の首脳	安全保障観点での規制、輸出管理、民主的エコシステムの保護